

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成30年8月30日(2018.8.30)

【公表番号】特表2017-527963(P2017-527963A)

【公表日】平成29年9月21日(2017.9.21)

【年通号数】公開・登録公報2017-036

【出願番号】特願2017-506383(P2017-506383)

【国際特許分類】

H 01M 4/525 (2010.01)

H 01M 4/505 (2010.01)

H 01M 10/0525 (2010.01)

H 01M 4/131 (2010.01)

【F I】

H 01M 4/525

H 01M 4/505

H 01M 10/0525

H 01M 4/131

【手続補正書】

【提出日】平成30年7月18日(2018.7.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式

$\text{Li}_p\text{Ni}_x\text{Mn}_y\text{Co}_z\text{O}_2$

(式中、 $p$ は、想定空孔含有量を表し、 $p + q + x + y + z = 2$ 、 $0.06 < q < 0$ .)

$1.5, 0.88 < p < 1.01, 0.1 < x < 0.45, 0.05 < y < 0.6$ 、及び $0.05 < z < 0.5$ である。)

で表されるリチウム遷移金属酸化物を含むカソード組成物であって、

前記リチウム遷移金属酸化物が、O3タイプ構造を有し、

Li金属箔を対電極として使用し、1MのLiPF6を含有するカーボネート系電解質を使用して前記組成物を試験した場合、30℃で10mA/gを使用した、Liに対する2.0~4.8Vでの不可逆容量が、10%未満である、カソード組成物。

【請求項2】

式

$\text{Li}_p\text{Ni}_x\text{Mn}_y\text{Co}_z\text{O}_2$

(式中、 $p$ は、想定空孔含有量を表し、 $p + q + x + y + z = 2$ 、 $0.05 < q < 0$ .)

$1.5, 0.8 < p < 1.02, 0.05 < x < 0.45, 0.05 < y < 0.6, 0.05 < z < 0.6$ 、及び $0.14 < p * x < 0.34$ である。)

で表されるリチウム遷移金属酸化物を含み、

前記リチウム遷移金属酸化物が、O3タイプ構造を有する、カソード組成物。